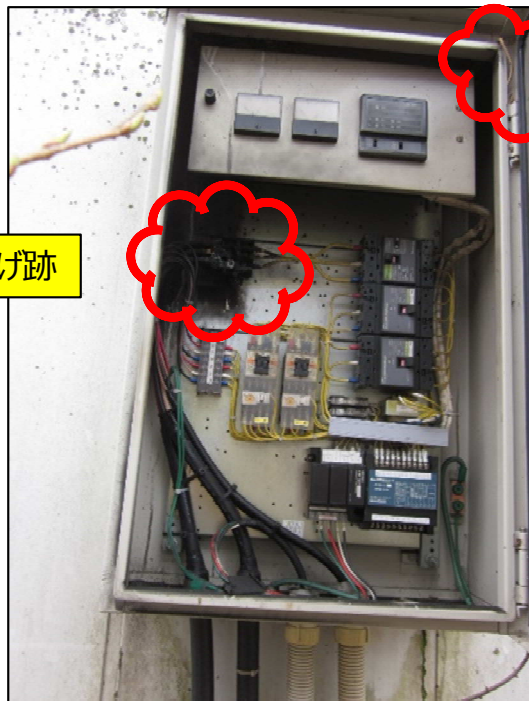
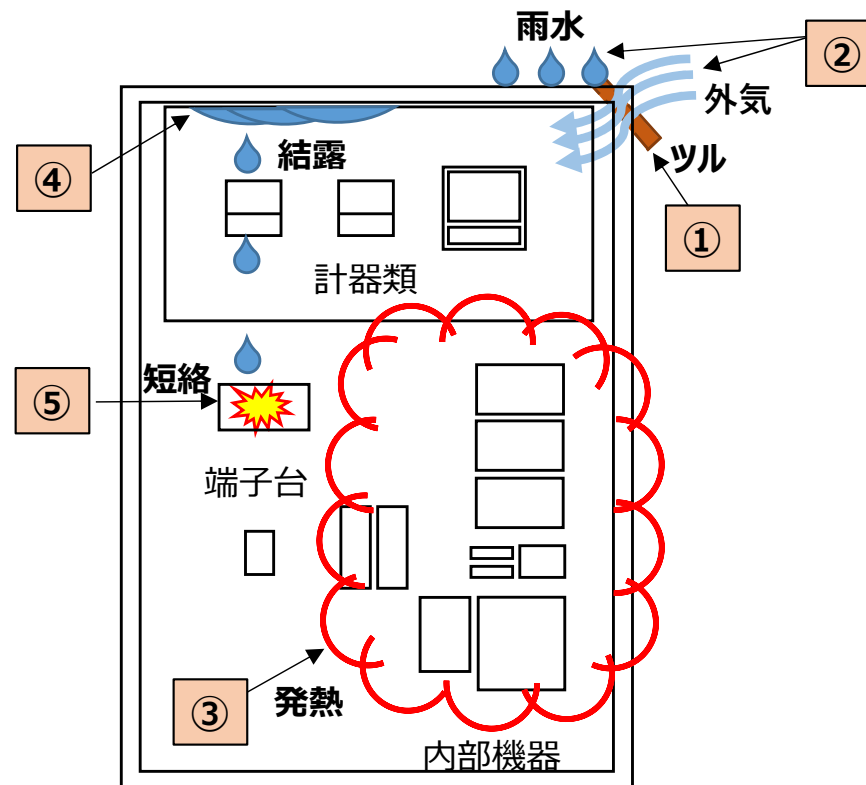


ツルが扉に挟み込まれていた



確認された焦げ跡

扉を開けた状態の当該分電盤



事象発生イメージ

## 【発生メカニズム】

- ① 分電盤の扉を閉めた際にツルを挟み込み
- ② 扉の密閉性が低下し、すき間から雨水および湿分を多く含んだ外気が侵入
- ③ 内部機器の発熱等により分電盤内の空気が温められ、空気中に多量の水分を含んだ状態となる
- ④ 夜間時間帯等の外気温低下により分電盤が外側から冷却され、分電盤内に多量の結露が発生
- ⑤ 分電盤内部(天井)から結露水が端子台に滴下し、端子間（相間）への付着により短絡、火災が発生